

## レファレンスサービス演習：第4回 演習の進め方

2009年10月21日(水)  
江草由佳  
国立教育政策研究所  
yuka@nier.go.jp

1

## 本日のお品書き

- 第4回演習課題の返却と好評
- 調査質問課題1(事柄)の返却と講評
- 調査質問課題3(場所),4(人物)の出題と割り当て
  - p142 ~ (4) 場所・地理・地名に関する問題
  - p144 ~ (5) 人物・団体・企業に関する問題
  - 第5回演習課題の出題と提出
- 次回予告: 次回は**図書館に集合**です

2

## 調査質問課題1(事柄)の返却と講評

- 情報源の種類
  - 書名に『』がついていない
  - 複数のツールを挙げていない
  - 具体的なツール名が書いていない
    - わからない場合はしょうがない。

3

## 調査質問課題1(事柄)の返却と講評

- 調査プロセス
  - 各レファレンスツールを**どうやって使ったか**が書いていない
    - どんな見出し語で、索引からなのか、目次からなのか、読みで検索？漢字で検索など。
  - 回答を**複数のツールで確かめていない**
    - 複数を使ってチェックする
    - 複数のツールを使うのは、1つのツールだと間違っている可能性があるため、ダブルチェックするために必要。
    - 単に複数のツールを使えばよいというものではない
  - **みつけられなかったツールについて書いてない**
    - みつけられなかったプロセスについても重要な情報

4

## 調査質問課題1(事柄)の返却と講評

- 回答
  - 「**転記**」(引用)した回答となっていない・・・多数
    - 転記とは、そっくりそのまま一字一句変えずに書くこと。
    - 転記した部分ができるように、「」で囲みましょう。
    - 要約したばあいは、要約した旨がわかるように書きましょう。
  - ある程度まとめて回答を書くことは必要だが、このレファレンスツールにはこのように掲載されていたというように、どのツールからの転記なのか、各ツールの典拠を示す回答を書くべき。

5

## 調査質問課題1(事柄)の返却と講評

- 使用した情報源
  - 書名に『』がついていない

6

## 調査質問課題1(事柄)の返却と講評

- 調査して重要だと思ったこと
  - 感想である・・・多数

7

## 調査質問課題1(事柄)の再提出

- これまでのコメントを踏まえて、回答レポートに修正を加えて作成し直して、次回の最後に提出しなさい。
  - **青など、赤・鉛筆以外**で修正が分かりやすい色を使用して修正すること
  - **赤で直してある・指摘してある箇所以外にも修正すべきポイントは沢山あります！**
  - 大幅に修正箇所があり、追加修正でなおせそうにない場合は、修正前のものがわかるように紙を張り付けてもよい

8

## 問題の割り当て

- 調査質問課題3(場所),4(人物) --
- 割り当てられた問題を知る方法
  - 「課題割り当て」リンクをクリック
  - 自身の「学籍番号」を入力
  - 「割り当て課題を表示」ボタンをクリック
  - 出てきた課題番号は、**教科書のp.142~p.146の番号**
- **大切: 次々回の演習の最後**
  - **演習だけでは終わらない**ので演習時間以外にもやっておくこと。

9

